

# 木山こうじ

## 私はブレない! 3児の父の突破力!



### TOPICS!

### 令和8年6月定例会で可決・承認された主な議案

今号は「スポーツ」と「子育て」が注目。総合体育館前に新しいスポーツ広場が整備され、保育の選択肢と安全も強化されます。

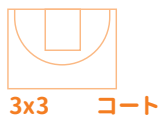
#### 総合体育館前に「(仮称)フラットパーク」を整備へ(令和9年秋完成予定)

議案第98号 補正予算

##### 総合体育館

緑地

ピクセルボールコート



スケートボード・BMXエリア

緑地

市役所本庁舎側

補正予算(議案第98号) 25,557千円(約2,556万円) 令和9年度分の継続費として157,500千円計上

県支出金 11,028千円(43.2%)

地方債 12,100千円(47.3%)

一般財源  
2,429千円(9.5%)

#### 何ができる?



総合体育館の前庭に、  
アーバンスポーツを楽しむための  
**「(仮称)フラットパーク」**  
を整備します。

#### 想定される種目

スケート  
ボード

BMX

3x3

ピクセル  
ボール

#### 保育に関する3つの条例を改正

議案第70・71・72号



これまで

小規模保育 = 0~2歳児が対象



これから **3歳以上専門の  
小規模保育も可能に**

「3歳の壁」の解消に向けた一歩



#### 受け皿の拡大

小規模保育で3歳以上も  
受け入れ可能に。預け先  
の選択肢が広がります。

#### 専門職の活用

看護師・理学療法士  
等が保育の支援体  
制に加われるように。

#### 子どもの安全

職員の性犯罪歴を  
確認する日本版DBS  
を施設に義務化。



木山の視点

少人数で家庭的な環境のほうが安心できる子もいます。選択  
肢が増えること自体に意義があると考えます。なお幼稚  
園・認可保育園は県の所管で、別途県条例で対応されます。

木山こうじが  
今後も注視  
すること

- ▶ 市内で3歳以上の小規模保育を実施する事業者は現れるか
- ▶ 配置基準の緩和で保育の質は保てるか(指導監督の充実)
- ▶ 犯罪歴確認の対象範囲と、センシティブな情報の管理
- ▶ 施行までに事業者へ丁寧な説明・研修が行われるか

#### 先発薬を希望すると「追加負担」が増えます

議案第64号

ジェネリック(後発薬)があるのに、希望して**先発薬を選んだ場合の追加負担「特別の料金」**が、国の改定に合わせ市立病院でも引き上げられます。

**後発薬を選べば  
追加負担はかかり  
ません。**



これまで

ジェネリック

先発薬

価格差の

1/4  
相当

令和8年6月から

ジェネリック

先発薬

価格差の

1/2  
相当

プロフィール

茅ヶ崎市議会議員・二期目 完全無所属

1982年1月4日生まれ 44歳 3児の父 防災士

▶ 私立関東学院大学法学部 卒業

▶ 元北京オリンピックテコンドー日本代表強化指定選手

▶ 文化教育常任委員会 委員長

▶ 関東若手議員の会 副会長

趣味:ダンス(POP)・筋トレ・サウナ・料理



公式LINE



Instagram



FaceBook



X

木山こうじと茅ヶ崎の未来を作る会

☎ 080-3004-5023

✉ kiyamakoji@gmail.com

木山こうじ

検索

SNSで日々の活動  
を発信しています。  
お気軽にフォロー  
お願いします!





一般質問  
登壇率  
100%  
継続中!

## 【一般質問(※)】をしました!

※議員が、その属する地方公共団体の行政全般にわたり、執行機関(市長等)に対し事務の執行状況、および将来に対する方針等について、所信を質し、あるいは報告や説明を求め、または疑問を質すこと。

## 子どもと先生の命を守る 学校防災の「実効性」を問う

学校防災計画・避難確保計画を独自に精読 | 答弁：教育委員会

茅ヶ崎市は相模湾に面し、南海トラフ地震では津波が短時間で到達する恐れがあります。私は津波浸水想定区域内の9校の防災計画・避難確保計画を独自に精読しました。「**計画がある**」ことと「**いざという時に使える**」ことは違います。東日本大震災・大川小学校の教訓を踏まえ、計画の中身、教育委員会の点検体制、地域と連携した訓練のあり方を議場でいただきました。

### QUESTION

#### 木山の質問

避難先や経路を選んだ「**根拠**」は、計画に明記されているか。

学校防災計画と避難確保計画の**整合性**を、誰がどう点検しているか。

停電・放送不能など想定外の状況を見据えた**実践的訓練**はどこまで行われているか。

自主防災組織・保護者との連携訓練、保護者が迎えに来られない子どもへの対応ルールは整っているか。

### ANSWER

#### 市の答弁・要約(教育委員会)

計画書間の齟齬や記載漏れについて、教育委員会は「**点検機能が十分に働かず、是正できなかった**」と認め、複数名による点検強化と記載方法の統一化を進めると答弁。

想定外シナリオを組み込んだ訓練は**全32校中28校**で実施。全校で訓練後の振り返り(PDCA)は確立済み。

避難の判断基準として、各校に「**歩行速度=秒速1.0m**」を提示している。

災害時に保護者が迎えに来られない子どもへの対応は学校の責任で行う一方、地域との連携をルール化したものはない。今後、合同訓練や仕組みづくりの協議を深めるとした。

## ! 茅ヶ崎市の学校防災で見た課題

### ! 避難方針の根拠

同じ津波浸水想定区域でも、学校ごとに避難先・経路・判断基準の書き方に差があります。到達時間、移動距離、児童生徒の歩行速度など、命に関わる判断の根拠を明確にする必要があります。

### ! 点検体制の弱さ

防災計画と避難確保計画は、別々に作成されるだけでは不十分です。両方の内容が食い違えば、現場は迷います。教育委員会が複数名で横断的に点検する体制が不可欠です。

### ! 地域連携の未整備

大規模災害では、保護者がすぐに迎えに来られない可能性があります。学校だけで抱え込まず、自主防災組織・学校運営協議会・保護者と連携した仕組みづくりが必要です。

## 木山こうじの要望・提言

- ▶ 津波到達時間ゾーン(5分・7分・10分未満)を、全校の避難方針に反映させること。
- ▶ 鎌倉市の手引き改訂を参考に、茅ヶ崎版の実効的な防災マニュアルを整備すること。
- ▶ 釜石東中学校型の体感する訓練や、大川小学校など被災地に学ぶ教員研修を制度化すること。
- ▶ 保護者が来られない子どもへの対応について、地域と連携した具体的なルールを整えること。

木山の視点

学校防災は、書類を整えるだけでは不十分です。**子ども・先生・地域が同じ判断基準で動けること、そして訓練で課題を見つけて改善し続けることが、命を守る実効性につながります。**